

公益財団法人いばらき文化振興財団

[法人の概要]

令和4年7月1日現在

代表者名	理事長 小室 昌彦(常勤)	県所管部課	県民生活環境部生活文化課	
所在地	水戸市千波町東久保697番地	電話番号	029-305-0161	
ホームページURL	https://icf4717.or.jp	E-mailアドレス	icf-ga2@icf4717.or.jp	
資本金(基本財産)	30,000	千円	設立年月日	平成4年7月17日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	30,000	100.0%
	2			
	3			
	4			
	5			
その他				
設立目的	<p>各種の文化振興事業を行うことにより、個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与する。</p> <p>平成11年からは、茨城県文化福祉事業団の文化部門を継承し、文化芸術に接する機会の提供、県民文化センターの管理運営及び大洗水族館の運営を行っている。</p>			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	内 容	
事業1	大洗水族館事業(公2)	1,343,033	1,183,466	1,181,847	「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」を基本テーマとし、地球の自然と世界の水生生物の生態を通して、生物の多様性や自然環境・地球環境について楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えるとともに、「展示」、「普及」、「研究」の3つの機能が相互に連動する魅力ある海の総合ミュージアム施設として運営を行う。
	全体事業に占める割合	53.9%	59.3%	55.4%	
事業2	大洗水族館売店事業(収2)	650,268	462,407	565,974	地域に貢献する観光拠点施設としての役割を踏まえ、多くの人が来場する大洗水族館の利用者への利便提供のため、物販・飲食部門の運営を行う。
	全体事業に占める割合	26.1%	23.2%	26.5%	
事業3	文化振興事業(公1)	423,184	320,130	351,165	個性豊かな地域文化の創造を図るため、文化芸術活動への助成及び文化芸術に接する機会の提供を行う。また、県の文化芸術振興の拠点施設である県民文化センターの指定管理者として、施設の運営・維持管理・使用承認等を行うとともに、利用者への利便提供等を行う。
	全体事業に占める割合	17.0%	16.0%	16.5%	
その他事業	事業1~3以外	74,477	30,025	35,604	県民文化センター利用者の利便施設として売店等の運営を行う。また、県民文化センター及び大洗水族館を効果的・効率的に運営するため、理事会及び評議員会をはじめ、諸会議の開催、財務及び組織の適正な管理等を行う。
	全体事業に占める割合	3.0%	1.5%	1.7%	
全体事業	2,490,962	1,996,028	2,134,590	指定管理者	○
全体割合	100.0%	100.0%	100.0%		

< 公益財団法人いばらき文化振興財団 から県民のみなさまへ >

いばらき文化振興財団は、各種文化振興事業を行うことで、個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的とする公益財団法人です。

良質な舞台芸術公演の提供、文化活動団体等への支援、県民の文化活動の拠点施設としての「県民文化センター」の管理運営、茨城の海と自然・世界の海と地球環境を基本テーマとした「大洗水族館」の運営を行い、県民の皆様へ良質な文化をお届けするとともに、魅力ある施設づくりを目指しております。

文化活動団体等への助成では、コロナ禍において県民のみなさまが文化活動を再開できるよう、支援を拡充しました。また、県民文化センターの運営では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、人気アーティストの公演実施や、人と文化がことばのチカラで交流する賑わい創出事業を実施するなど、多くのみなさまに気軽にご利用いただき、文化芸術に接していただけるよう努めております。

大洗水族館では、今春、新たに屋外海獣エリアのリニューアルオープンを予定しており、新たな驚きと発見に出会える魅力ある生物展示や異業種ブランドとの協働事業などを積極的に推進するなど、楽しく学べる海の総合ミュージアムとしての魅力向上に努めております。

今後も、各種事業の一層の充実を図るとともに、県民のみなさまに安全・安心にご利用いただけるよう、職員一同、適切な施設の管理・運営に努めてまいります。

令和5年2月 理事長 小室 昌彦

[経営状況] 公益財団法人いばらき文化振興財団 (単位:千円)

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	經常収益	2,464,784	1,867,501	2,153,287	285,786	
	基本財産運用益	313	313	313	0	
	事業収益	2,394,160	1,588,892	1,963,639	374,747	利用料、入場料等の売上の増
	受取補助金等	54,494	255,790	157,480	△ 98,310	県有施設支援金の減、助成金及び水族館開館記念補助金の増
	その他収益	15,817	22,506	31,855	9,349	体験プログラム収益、ユニークな建物使用料の増
	經常費用	2,490,962	1,996,028	2,134,590	138,562	
	事業費	2,479,129	1,983,418	2,120,487	137,069	売上増に伴う費用の増、燃料費・光熱水費の増
	管理費	11,833	12,610	14,103	1,493	赴任旅費の増、オンライン研修費の増
	うち役員人件費	16,035	14,763	15,567	804	
	うち職員人件費	730,070	643,858	642,226	△ 1,632	
	評価損益等	0	0	0	0	
	經常増減額	△ 26,178	△ 128,527	18,697	147,224	利益の増
	經常外収益	0	0	0	0	
	經常外費用	1,334	161	1	△ 160	
	經常外増減額	△ 1,334	△ 161	△ 1	160	
法人税・住民税・事業税	2,183	3,169	142	△ 3,027		
一般正味財産増減額	△ 29,695	△ 131,857	18,554	150,411		
指定正味財産増減額	0	0	0	0		
正味財産期末残高	1,899,178	1,767,321	1,785,875	18,554		
貸借対照表	資産合計	2,716,130	2,508,963	2,621,200	112,237	
	流動資産	626,458	579,012	714,242	135,230	預金及び貯蔵品の増
	固定資産	2,089,672	1,929,951	1,906,958	△ 22,993	取崩による資産の減、減価償却による減
	負債合計	816,952	741,642	835,325	93,683	
	流動負債	245,174	205,802	302,416	96,614	年度末未払金計等の増
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	571,778	535,840	532,909	△ 2,931	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	1,899,178	1,767,321	1,785,875	18,554	
	基本財産充当額	30,000	30,000	30,000	0	
県財政関与状況	補助金	52,736	51,983	49,749	△ 2,234	
	委託料	250,118	230,337	233,759	3,422	
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	2,000	196,363	77,469	△ 118,894	県有施設支援金の減、水族館開館記念補助金の増
	合計	304,854	478,683	360,977	△ 117,706	
	財政的関与の割合(%)	12.3%	15.1%	13.2%	△ 2.0	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
	借入金残高(期末)	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減P	備考
公益目的事業比率	認定法第15条に定める率	70.7%	75.2%	71.6%	△ 3.5	
管理費比率	管理費/經常費用	0.5%	0.6%	0.7%	0.0	
人件費比率	人件費/經常費用	30.0%	33.0%	30.8%	△ 2.2	
自己収益比率	自己収益額/經常収益	95.4%	95.2%	95.8%	0.6	
流動比率	流動資産/流動負債	255.5%	281.3%	236.2%	△ 45.2	
借入金比率	借入金残高/負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		令和2年			令和3年			令和4年			増減数	増減理由
		県派遣	県OB	計	県派遣	県OB	計	県派遣	県OB	計		
役員	常勤理事・監事	2	0	2	2	0	2	2	0	2	0	
	非常勤理事・監事	12	1	0	12	1	0	12	1	0	0	
	計	14	1	2	14	1	2	14	1	2	0	
職員	管理職	23	0	0	22	0	0	21	0	0	△ 1	副参事退職による減
	一般職	45	0	0	42	0	0	46	0	0	4	新規採用による増
	嘱託・臨時職員等	68			73			73			0	
	計	136	0	0	137	0	0	140	0	0	3	
当期	プロパー職員平均勤続年数	16.0年	常勤職員(嘱託・臨時職員を除く)の年齢構成	~20代	30代	40代	50代	60代	合計	平均年齢	常勤役員平均報酬(年額)	
				13	22	13	19	0	67		40.2歳	6,456.0千円
											プロパー職員平均給与(年額)	
											6,081.1千円	

[評点集計]

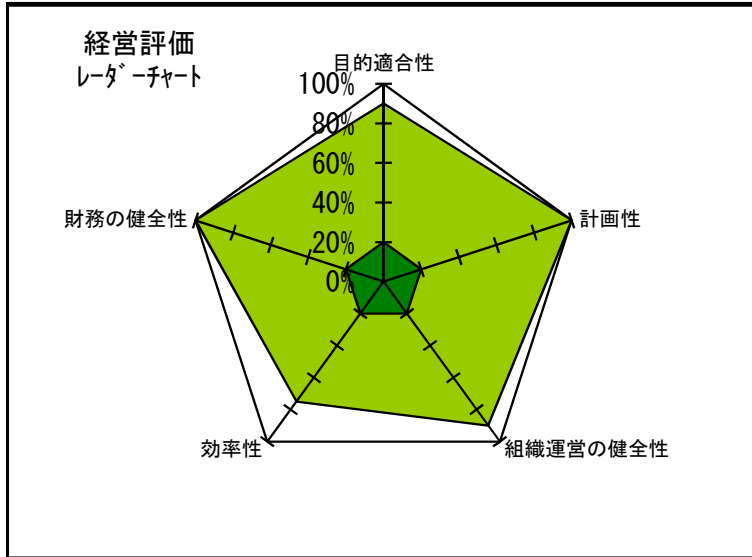
評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	9	18	20	90%
計画性	8	20	20	100%
組織運営健全性	10	18	20	90%
効率性	11	15	20	75%
財務健全性	9	17	17	100%
合計	47	88	97	91%

公益法人等会計用

公益財団法人いばらき文化振興財団

警戒指標

--



《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか。また、各事業の採算性がとれているか

[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
<p>定款の目的に則り、個性豊かな県民文化の振興を図るため、文化振興事業、県民文化センター・大洗水族館の管理運営を行っている。</p> <p>今後も県関係機関と密接な連携のもと、設立目的に沿った事業運営に努める。</p>	<p>第5期中期経営計画を策定し、事業別に目標を掲げるとともに、毎年度財団全体の事業計画を作成している。3年度は依然として新型コロナウイルス感染症の影響があったが、当初計画の達成に向けて随時計画に対する進捗管理を行った結果、前年度を上回る数字を残すことができた。</p> <p>事業計画に基づきPDCAマネジメントサイクルを基本に、時代のニーズに沿った事業を効果的・効率的に展開していく。</p>	<p>民間からの出向者2名によるスピーディなマネジメントの成果が発揮されている。また、職員の専門性を高めるために、従来の研修に加えて、オンライン研修でも階層別及び専門研修等を実施し、人材育成・能力開発等に努めた。さらに、専門的知識を有する会計事務所及び社会保険労務士へ委託などして、組織運営の健全性の確保に努めている。</p>	<p>協賛金や助成金等の事業資金の確保やWeb会議、ペーパーレス化、競争入札等によるコスト削減など、各種事業の財源確保に努めるとともに、給与・会計・勤怠管理システムに加え、グループウェアを導入し、効率的な事務処理体制に努めた。</p>	<p>両施設とも新型コロナウイルス感染症により休館があり、大幅に減収減益となったが、経費の節減等を行い、黒字を確保することができた。</p> <p>なお、水族館では20周年と併せ、国内初のシロワニの繁殖を活かした事業展開やユニークメニューの活用、文化センターでは動画配信設備を活用した利用促進策を打ち出し、財源確保を図っていく。</p>
<p>今後の事業展開の方向及び法人の将来展望</p>	<p>当法人は、各種の文化振興事業を行うことにより、県民文化の振興及び国際性豊かな文化の醸成に寄与するという目的達成に向けて、次の事業を推進していく。</p> <p>県民の自主的・個性的な文化活動の支援をはじめ、参加体験を通じた文化芸術の担い手育成や県民とともに創る新たな文化プログラムの提供等により文化振興の拡充を図るとともに、県民文化センターの適切な管理運営により、県民が様々な文化芸術に接する機会を提供する。</p> <p>大洗水族館については、「NEW AQUAWORLD」として作り出した様々な新ブランドの継承と、常に新しいことに挑戦し、今までにない「世海」を創出する海の総合ミュージアムである大洗水族館の運営を適切に行い、県民から愛され、親しまれる施設運営と事業展開に努める。</p>			

〔法人担当課の意見〕

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
文化芸術に接する機会の提供、文化活動団体等への助成、水族館による「展示・普及・研究」の3つの機能の提供など、目的に沿った本県の文化振興に寄与する事業を実施している。	中期経営計画や事業計画に基づき、効率的な経営や自主財源の確保、計画的な施設整備等による利用者の利便性の向上を図るなど、計画的に事業を執行している。	新たにオンライン研修を実施するなど人材育成等に努めているほか、法令遵守に関する要項やガイドラインに基づきコンプライアンスの確立に努めるなど、適正に運営している。	事業資金の確保やコスト削減などにより各種事業の財源確保に努めるとともに、効率的な事務処理体制を構築するなど、効率のよい運営に努めている。	財源の確保及び経費の節減により、各事業の採算性をとるよう努めたことから、当期経常増減額が黒字となるなど、健全な運営が図られている。
法人担当課の意見 県有施設休館やまん延防止等重点措置適用など、年間を通して新型コロナの影響を受けたが、委託契約見直しや光熱水費削減等の経費削減及び県民文化センターでの文化庁補助事業を活用した催事の開催や、水族館での年間を通じた20周年記念事業の展開等の収益改善に向けた取り組みを進めたことから黒字となったところであり評価できる。 今後も、新型コロナの状況次第では厳しい環境が予想されるが、持続可能な経営体制が構築できるよう引き続き指導していく。				

〔経営目標〕

区分	指標名	単位	R1実績	R2実績	R3目標値	R3実績	達成度(%)	R4目標値
事業成果	1 県民文化センター施設全体の利用率	%	67.4	45.6	64.0	59.2	92.5%	80.0
	2 水族館の入場者	千人	1,054	645	1,011	799	79.0%	1,083
健全性	1 流動比率	%	256	281	220	236	100.0%	240
	2 自己資本比率	%	69.9	70.4	71.6	68.1	95.1%	72.8
効率性	1 職員1人あたりの事業収入	千円	13,862	9,754	14,643	13,107	89.5%	15,350
	2							
平均目標達成度							91.2%	

〔総合評価〕

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
総合的所見等	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> 改善の余地あり <input type="checkbox"/> 改善措置が必要 <input type="checkbox"/> 大いに改善を要する				
	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、県民文化センターの利用者数は237千人（前期差108千人増）、大洗水族館の入場者数は799千人（前期差154千人増）と、令和元年度までの水準までは回復していないものの、いずれも令和2年度を大きく上回った。経常収益は2,153百万円（前期差286百万円増）となり、令和2年度に比べ改善している。 今後も、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、利用者・入場者数が減少するなど、厳しい運営が予想されることから、引き続き、管理費の抑制に努め、効率性を高めるとともに、収益確保にも努められたい。 大洗水族館事業については、コロナ禍において開館20周年を契機とした大規模な記念事業を実施して誘客を試み、増収につなげたことは評価できる。更にその魅力を広くアピールし、新たな誘客強化に努め、大洗水族館ならではの運営を図られたい。 文化振興事業については、コロナ禍における厳しい状況の中にあっても、動画とのハイブリッド型の事業を行う等積極的な展開が見られ評価したい。今後も利用者の増加につなげるために創意工夫を凝らし、県民に親しまれるセンターの運営を図るとともに、多くの県民が質の高い文化に接する機会を提供されたい。 （ 県所管課は、新型コロナウイルス感染症の流行など、厳しい環境においても持続可能な経営体制が構築できるよう、当該法人の自立化に向けた支援に積極的に取り組まれたい。 ）				
総合的所見等に係る対応	令和4年度の大洗水族館事業については、時間指定のWEBチケットやナイト営業など混雑緩和を図りながら、新種のクラゲの世界初展示や人気漫画とのコラボイベントなどの話題づくりを努め、開館以来3番目の早さで入館者数1,000千人を達成したところである。 文化振興事業についても、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクール優勝者の公演など、県民に質の高い文化に接する機会を提供するとともに、学校や団体などへの営業活動による利用促進に努め、年間の利用者数は310千人を超える見込みである。 これらのことから、令和4年度の経常収益は令和元年度の2,465百万円を超える見通しであり、昨年度に引き続き2年連続で黒字となる見込みである。 県としては、引き続き、持続可能な経営体制が維持できるよう、一層の収益確保に努める。				